様式

技術名称	ジオドレーン工法	技術の分類	環境	NETIS登録の有無 （有場合はNETIS番号）		
会社名等	ジオドレーン協会	担当者	飯塚浩延		連絡先	03-5484-0145
技術の概要	本工法は軟弱地盤の圧密促進工法です。 従来工法では水平排水として天然資源であるサンドマットを使用していましたが、本工法ではサンドマットの替わりに水平ドレーン材を用いる事で天然資源の削減を図ります。 また従来工法のドレーン材は石油系プラスチック製でしたが、本工法では生分解性プラスチック製を用いることで、環境負荷を低減します。			対象者	☑ 国土交通省職員　☑ 港湾管理者 ☑ 一般(施工業者・コンサルタント等含む)	
				添付資料	パンフの有無	有り
					その他の資料	協会資料、発表論文
技術の特徴	・水平ドレーン材を用いることで、天然資源であるサンドマット（良質砂）の使用を削減します。 ・本工法で用いる生分解性プラスチックは植物由来の材料を主原料とし、自然環境下で循環する持続可能な材料です。 ・生分解性プラスチックは分解され最終的に自然に還るため、環境負荷が小さく後工事への影響がありません。 ・従来工法（サンドマット使用）と比較して、約10%程度のコストダウンが期待できます。 ・水平ドレーンを用いる事で、サンドマットに比べ圧密遅れを低減できます。 ・適用範囲は従来工法と同じで、施工も従来通りの機材で可能です。			その他		

※複数の技術について発表をご希望の場合は技術ごとに記載願います。